

(別紙様式2)

普及指導員調査研究報告書

所属名：柳井農林事務所

担当者名：兼常久美子

課題名	はなっこりーの長期・安定出荷（ME 定点）																							
1 調査研究チームの構成	兼常久美子、藤村壽祐																							
2 課題の目的	はなっこりーの新系統のひとつであるMEについて、作型を含めて地域での適応性を確認する。																							
3 調査研究期間	平成 24 年 9 月～平成 25 年 3 月																							
4 調査研究の対象地域・場所	山口県熊毛郡平生町																							
5 調査研究方法の概要	<p>(1) 設置場所及び農家名 山口県熊毛郡平生町 F 氏</p> <p>(2) 作物名及び品種名 はなっこりー（品種:ME）</p> <p>(3) 設置方法（調査区及び設置面積等） はなっこりーME 10/11定植 0.5 a、10/20定植 1.5 a</p> <p>(4) 調査項目、調査方法 耕種概要、生育概要、生育調査、収量調査</p>																							
6 結果の概要、成果	<p>(1) 調査結果</p> <p>ア 耕種概要</p> <ul style="list-style-type: none">○播種期 (10/11 定植) 9/21 (10/20 定植) 9/28○育苗培土 与作、セルトレイ (128 穴)○定植期 10/11、10/20○栽植密度 294 株/a (畝間 170 cm、株間 40 cm、2 条植え)○マルチの有無 黒マルチ○施肥管理 (a あたり) 炭酸苦土石灰 5kg、燐加安 14 号 10kg、鶏糞 20kg、油かす 2.5kg、BM 苦土重焼リン 2.5kg○病虫害防除 10/5 ゼンターリ顆粒水和剤 10/11 モスピラン水溶剤○その他 トンネル栽培を実施 (12/4～3 月中旬) <p>イ 生育概要</p> <ul style="list-style-type: none">○苗の活着 良○初期生育 良○灌水方法 株元灌水 (定植直後のみ)○頂果蕾摘除期 : (10/11 定植) 11 月 26 日～ (10/20 定植) 12 月 13 日～○収穫盛期 : (10/11 定植) 2 月下旬～ (10/20 定植) 2 月下旬～○収穫方法 : 1・2 芽残し、収穫可能の長さで収穫 <p>ウ 生育調査</p> <ul style="list-style-type: none">○定植時 (10/11 定植) (10/20 定植) <table border="1"><thead><tr><th colspan="3">調査日:10/25(定植14日後)</th><th colspan="3">調査日:10/30(定植10日後)</th></tr><tr><th rowspan="2">葉数(枚)</th><th colspan="2">最大葉</th><th rowspan="2">葉数(枚)</th><th colspan="2">最大葉</th></tr><tr><th>葉長(cm)</th><th>葉幅(cm)</th><th>葉長(cm)</th><th>葉幅(cm)</th></tr></thead><tbody><tr><td>5.4</td><td>20.3</td><td>12.3</td><td>4.2</td><td>8.4</td><td>6.5</td></tr></tbody></table>		調査日:10/25(定植14日後)			調査日:10/30(定植10日後)			葉数(枚)	最大葉		葉数(枚)	最大葉		葉長(cm)	葉幅(cm)	葉長(cm)	葉幅(cm)	5.4	20.3	12.3	4.2	8.4	6.5
調査日:10/25(定植14日後)			調査日:10/30(定植10日後)																					
葉数(枚)	最大葉		葉数(枚)	最大葉																				
	葉長(cm)	葉幅(cm)		葉長(cm)	葉幅(cm)																			
5.4	20.3	12.3	4.2	8.4	6.5																			

○頂花蕾摘除期
(10/11 定植)

調査日:11/26			
葉数(枚)	最大葉		草高(cm)
	葉長(cm)	葉幅(cm)	
18.2	32.4	22.3	39.5

(10/20 定植)

調査日:12/13			
葉数(枚)	最大葉		草高(cm)
	葉長(cm)	葉幅(cm)	
22.5	32.0	22.8	38.9

エ 1a あたり出荷量

		10/11定植			10/20定植		
		合計	A	B	合計	A	B
第1週	12/16~12/22	2.6	2.6	0.0	1.1	0.7	0.4
第2週	12/23~12/29	2.6	2.6	0.0	3.6	3.3	0.4
第3週	12/30~1/5	4.4	4.0	0.4	2.9	1.5	1.5
第4週	1/6~1/12	4.4	3.6	0.7	6.2	5.5	0.7
第5週	1/13~1/19	5.5	4.0	1.5	8.7	7.3	1.5
第6週	1/20~1/26	4.7	4.0	0.7	9.1	8.0	1.1
第7週	1/27~2/2	3.3	2.9	0.4	4.4	3.3	1.1
第8週	2/3~2/9	4.0	3.3	0.7	12.8	9.5	3.3
第9週	2/10~2/16	12.0	8.4	3.6	19.3	13.5	5.8
第10週	2/17~2/23	12.4	6.9	5.5	0.0	0.0	0.0
第11週	2/24~3/2	2.6	2.6	0.0	24.0	12.0	12.0
第12週	3/3~3/9	7.3	2.9	4.4	31.7	12.4	19.3
第13週	3/10~3/16	13.8	6.6	7.3	17.5	7.7	9.8
第14週	3/17~3/23	2.6	2.6	0.0	10.6	1.1	9.5
第15週	3/24~3/30	4.0	1.5	2.6	7.7	1.8	5.8
合計		86.0	58.3	27.7	159.6	87.4	72.1

(2) 結果の概要

- ・温暖な地域であったため、10/20 定植でも大きな生育遅れはなく凍害も少なかった。
- ・出荷量が少なくなる1月~2月も安定して出荷することができた。
- ・根こぶ病が発生し、特に10/11 定植に発生が多かったことから、収穫量は10/20 定植が多くなった。

7 今後の問題点

- ・凍害対策としてトンネル栽培を行ったが、株が旺盛であるため、ビニールに接した部分で傷みが多く発生した。トンネル栽培を行う場合は、栽植様式を検討する必要がある。
- ・出荷のピークが2月以降となるため、Lとの競合がみられた。

8 普及活動上の留意点

- ・気候が温暖な地域では、MEを10/20に定植しても生育に問題はなく安定した出荷量が確保できたが、地域によっては凍害が発生する可能性もあり、地域ごとの作型+定植時期の組み合わせを検討する必要がある。